

スリナム月間情勢報告（２０２２年１１月）

在トリニダード・トバゴ日本国大使館

１１月のスリナム内政、経済、外交月間報告は以下の通り。

１．概況

- １９８２年１２月８日の政治家拷問・殺害事件の裁判について、ボータッセ前大統領ら被告は、自分たちは不当に有罪判決を受けた、自分は政治的な責任を負っているのみと主張し控訴。
- オランダは過去の奴隷制について謝罪する予定。また、歴史認識を高めるために２億ユーロの基金が設けられる他、奴隷制博物館のために２７００万ユーロの予算が追加される予定。
- 債務局は本年８月時点の対外債務額は約１５．３億米ドル、国債残高は約６．３億米ドルと報告。スリナムとオランダは、パリクラブにおける合意に基づき、ハーグにて債務再編の合意書に署名。本年６月に続く２回目の合意となる。スリナムは、フランス、オランダ、イスラエル、イタリア、スウェーデンの間で合計９，５００万米ドルの債務再編を協議中。
- スリナムと中国は初の農業技術協力プロジェクトに署名。農業技術協力センターに関するもの。

２．内政

（１）新型コロナウイルス

- （３日報道）新型コロナウイルス感染対策及び医療用品の購入の為、中国から２０万ドルの資金供与を受ける。
- （３日報道）１０月初旬より、アミゴール財団は、新型コロナウイルス感染後のアフターケアを目的として、パラマリボとニッケリーの病院にて、スリナムの全病院とオランダの関係者の協力のもと、研修を実施。
- （７日報道）新型コロナウイルス感染による入院者数の微増を受け、政府はマスク着用を推奨。
- （１０日報道）新型コロナウイルス感染者が先月から微増しており、インフルエンザと区別する為に、政府はコロナ検査受診を推奨。

（２）その他の内政

- （１日報道）１９８２年１２月８日の政治家拷問・殺害事件の裁判について、ボータッセ前大統領ら被告は、自分たちは不当に有罪判決を受けた、自分は政治

的な責任を負っているのみと主張し控訴。

●（10日報道）某下院議員が「軍隊は大統領を罷免できる」と提案したのを受けて、「12月8日財団」は、憲法の尊重を呼びかけた。

●（21日報道）労働組合はサントキ大統領に公開書簡を提出。為替レートを1米ドル＝7.42SRDに戻すこと、燃料価格を1リットル＝7.52SRDに戻すこと、基本的な生活必需品を安価にし、IMFプログラムを停止することなどを要求。

●（30日報道）1982年の政治家拷問・殺害事件の裁判が続いている。今般、裁判官、検察官、弁護士、容疑者、証人は、殺害された政治家15人の一部が監禁されていた部屋、ボータッセ前大統領が使用していた執務室、被害者が銃殺されるために移動した経路等を視察した。

3. 経済

●（3日報道）サントキ大統領は、ラズベル金鉱山の売却について国会に報告した。

●（6日付報道）米州開発銀行（IDB）は、政策連動融資として1.5億米ドルの融資を承認した。これはIMFの合計5億米ドルからなる3年間の拡大信用供与措置の一環としての融資となる。

●（8日付報道）債務局は、本年8月時点の対外債務額は約15.3億米ドル、国債残高は約6.3億米ドルと報告した。

●（10日付報道）スリナム石油公社は、6つの沖合上のブロックに対して入札を開始し、2023年5月31日を締切日とすると発表した。

●（12日付報道）IDBは、職業訓練目的に1,000万米ドルを政府に融資する契約を締結した。

●（21日付報道）サントキ大統領は、ニッケリー港と命名した深水港建設を承認した。2025年の完工を目指す。

●（23日付報道）スリナムとオランダは、パリクラブにおける合意に基づき、ハーグにて債務再編の合意書に署名した。本年6月に続く2回目の合意となる。スリナムは、フランス、オランダ、イスラエル、イタリア、スウェーデンの間で合計9,500万米ドルの債務再編を協議している。2021年末時点でオランダに対して、1,300万ユーロの負債があり、うち延滞額は400万ユーロ。債務再編により、延滞額の6割を2022年11月、残り4割は2024年11月、2022年から2024年の元利返済は、2030年から2036年に繰り越された。

●（24日付報道）統計局は、10月のインフレ率は6.6%、年間インフレ率は49.1%と公表した。

- （２８日付報道）サントキ大統領は、毎月ガソリン補助金に４億スリナムドル（約１，２６６万米ドル）を費やしており、財政を圧迫していると述べる。
- （２８日付報道）エネルギー庁、エネルギー公社、再生可能エネルギーとエネルギー効率のためのカリブ地域センター（ＣＣＲＥＥ）は、３日間にわたるスリナム・エネルギー・フォーラムを開催した。

４．外交

- （３日報道）オランダの内閣は、過去の奴隷制について謝罪する予定。また、歴史認識を高めるために２億ユーロの基金が設けられる他、奴隷制博物館のために２７００万ユーロの予算が追加される予定である。
- （１２日報道）サントキ大統領はインドネシアのバリ島で開催されるＧ２０首脳会議にカリコム議長として参加予定だったが、国内情勢を考慮し参加を断念。
- （２０日報道）インドネシアのバリ島で開催されたＧ２０サミットで、カリコム議長国たる当国のラムディン外相は、食品の安全に関する世界的な実行計画と統合されたメカニズムを提唱した。
- （２０日報道）ラムディン外相は、Ｇ２０サミットで医療について発言。カリブ地域では、医療従事者の移動が発生しており、突然の予期せぬスタッフの喪失により医療提供の質が低下している、これは健康促進への途上国の努力に圧力をかけるものだと主張。
- （２１日報道）スリナムと中国は初の農業技術協力プロジェクトに署名。農業技術協力センターに関するもの。
- （２３日報道）オランダの最高裁判所長官と司法長官は、スリナム司法裁判所を実務訪問中で、サントキ大統領にも表敬訪問。
- （２４日報道）スリナム、ブラジル、フランス領ギアナ及びガイアナは共同で安全保障マスタープラン(Common Security Masterplan) ２０２２／２０２３を発動することで合意。２４日に各国の代表者によって署名された。
- （２４日報道）オランダ最高裁判所は法学研究等の分野でスリナム司法裁判所と協力することになり、趣意書に署名した。
- （３０日報道）アムステルダムにスリナムの国民と歴史に関するスリナム博物館が開設される。開館は２３年１１月２５日を予定。これはスリナム博物館財団のジェラルド会長がスリナムの先住民族村長協会（ＶＩＤＳ）を訪問した際に述べたもの。